

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 2 年 5 月 15 日

京都府知事 様

提出者



住 所 大阪府大阪市中央区道修町3-4-10

氏 名 飛島建設株式会社 大阪支店

執行役員支店長 中川 勲治

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6227-0250

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 元 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	飛島建設株式会社 大阪支店 京都府管内事業場
事業場の所在地	京都府管轄区域内
事業の種類	06 総合工事業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	平成31年4月1日 ~ 令和2年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	618 t	全処理委託量	618 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への 処理委託量	15 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への 処理委託量	618 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：建設汚泥)

不要物等発生量

有償物量

自ら直接
再生利用した量
②0t

自ら中間処理した後
再生利用した量
③0t

排出量

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
④0t

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑤0t

①11565.0t

項目

実績値

自ら中間処理
した量
⑥0t

自ら中間処理した後
の残さ量
⑦0t

②+③自ら再生利用を行った量
⑧0t

④のうち熱回収を行った量
⑨0t

自ら中間処理により減
量した量
⑩0t

⑤自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った量
⑪0t

⑥自ら熱回収を行った量
⑫0t

自ら中間処理により減
量した量
⑬0t

⑦自ら中間処理により減
量した量
⑭0t

⑧自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った量
⑮0t

⑨自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った量
⑯0t

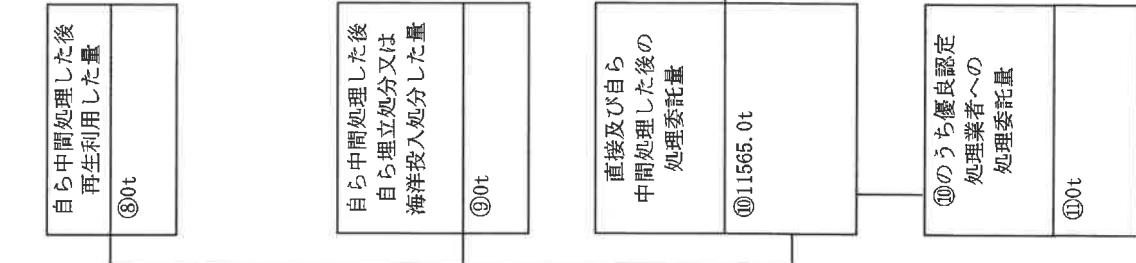
⑩全処理委託量
⑰11565.0t

⑪優良認定処理業者への
処理委託量
⑲0t

⑫再生利用業者への処理
委託量
⑳11565.0t

⑬熱回収認定業者への処
理委託量
㉑0t

⑭熱回収認定業者以外の
熱回収を行う業者への処
理委託量
㉒0t



(第2面)

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)	
項目	実績値	項目	実績値
有 償 物 量		自ら直接 再生利用した量	②0t
不要物等発生量		自ら中間処理した後 再生利用した量	③0t
排 出 量	①15.4t	自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	④0t
		自ら中間処理した後 の残さ量	⑤0t
項目	実績値	項目	実績値
①排出量	15.4t	②自ら再生利用を行った量	0t
②+③自ら再生利用を行った量	0t	④のうち熱回収を行った量	⑥0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t	自ら中間処理により減量した量	⑦0t
⑥自ら中間処理により減量した量	0t	自ら中間処理した後 の残さ量	⑧0t
⑦自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t	直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	⑨0t
⑧自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t	⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	⑩0t
⑨全処理委託量	15.4t	⑪のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	⑪15.4t
⑩優良認定処理業者への 処理委託量	15.4t	⑫再生利用業者への処理 委託量	⑫0t
⑪熱回収認定業者への処理 委託量	0t	⑬熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	⑬0t
⑫熱回収認定業者への処理 委託量	0t	⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	⑭0t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：木くず)

有 債 物 量

不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量
②0t

排 出 量

①38,935t

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③0t

項目 実績値

①排出量・
②+⑧自ら再生利用を行った量

38,935t
0t

⑤自ら熱回収を行った量
⑦自ら中間処理により減量した量

0t
0t

③+⑨自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った量
⑪全処理委託量

0t
38,935t

⑪優良認定業者への
処理委託量
⑫再生利用業者への処
理委託量
⑬熱回収認定業者への
処理委託量
⑭熱回収を行う業者への
処理委託量

0t
38,935t
0t
0t

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧0t

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量
⑫38,935t

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨0t

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑬0t

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑪38,935t

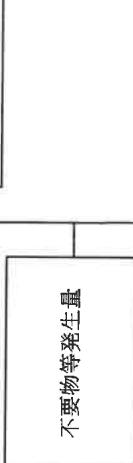
⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量
⑭0t

⑪のうち優良認定
業者への
処理委託量
⑯0t

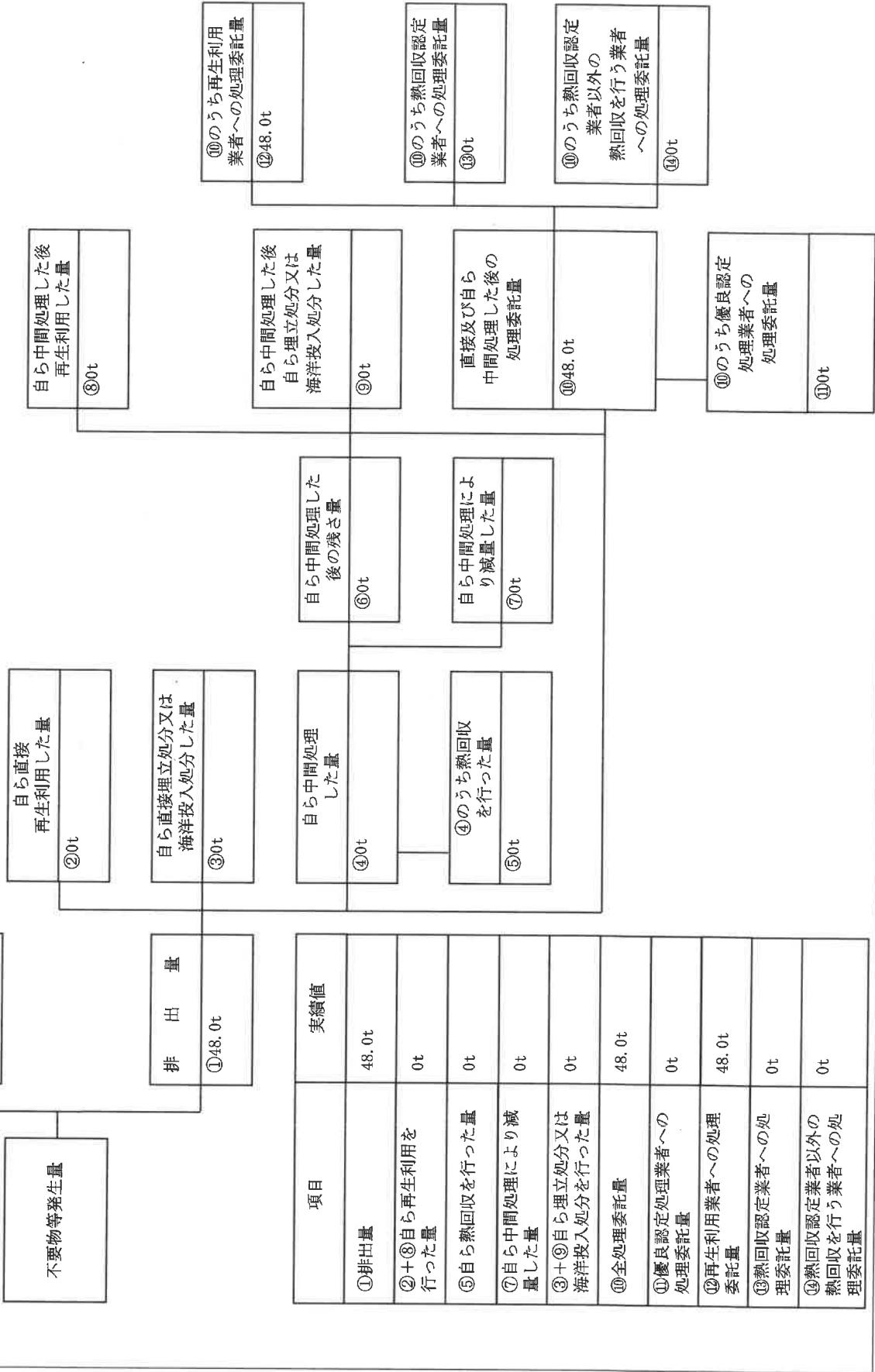
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：その他がれき類)

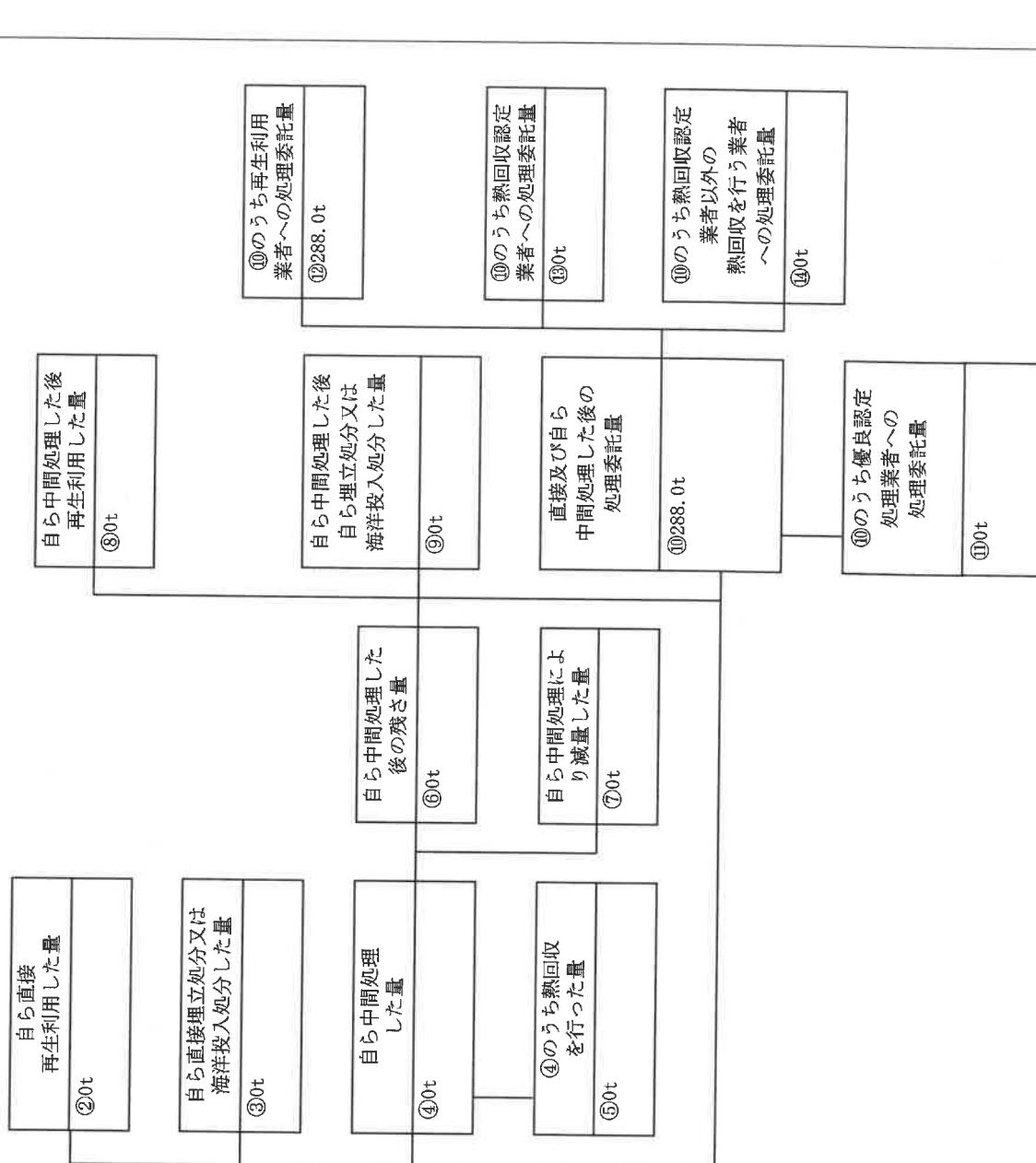
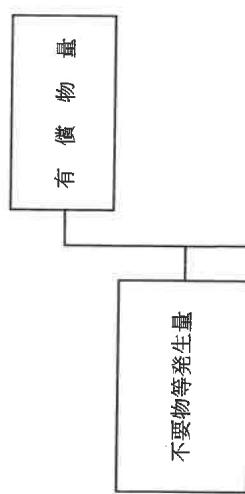


項目	実績値	自ら中間処理した量	自ら中間処理した後の残さ量
①排出量	48.0t	④0t	⑥0t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0t	④のうち熱回収を行った量	自ら中間処理により減量した量
⑤自ら熱回収を行った量	0t	⑤0t	⑦0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t		
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t		
⑩全処理委託量	48.0t		



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：コンクリートがら)



(第2面)

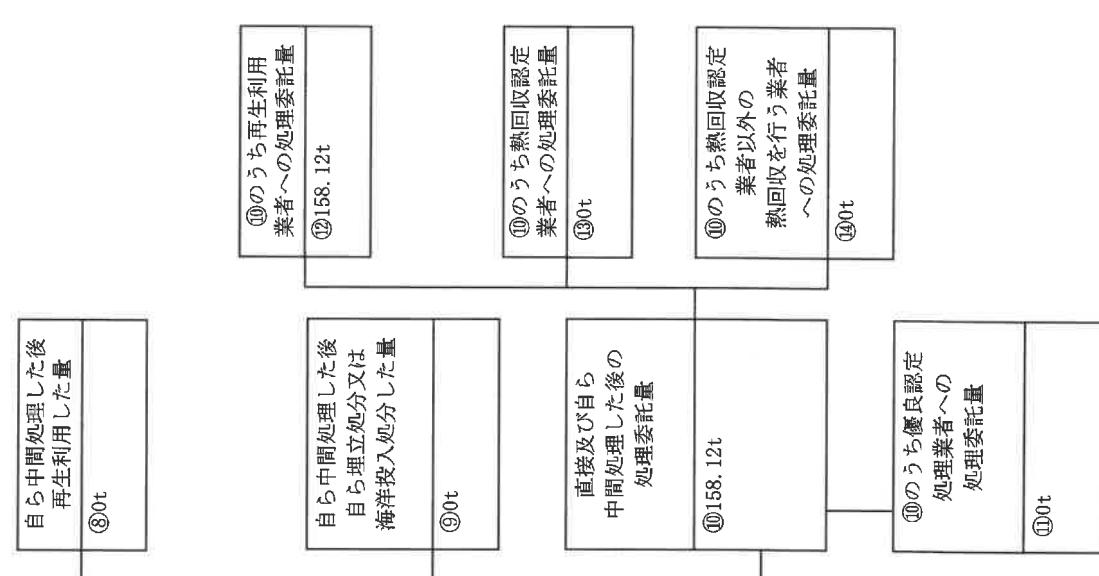
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：アスファルトがら)

不要物等発生量	有償物量
---------	------

項目	実績値	自ら中間処理した量	自ら中間処理した後の残さ量	直接及び自ら中間処理した後の 処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	⑪のうち優良認定處理業者への 処理委託量
①排出量	158.12t	④0t	③0t	⑨0t	⑩158.12t	⑪0t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0t	④のうち熱回収を行った量	⑤0t	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑫158.12t	⑬0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t	⑥のうち中間処理により減量した量	⑦0t	⑭のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑮158.12t	⑯0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t	⑧自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	⑨0t	⑩のうち再生利用した量	⑪0t	⑫0t
③+⑩自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t	⑩全処理委託量	158.12t	⑪のうち再生利用した量	⑫0t	⑬0t
⑪全処理委託量	158.12t	⑫優良認定處理業者への処理委託量	0t	⑭のうち優良認定處理業者への処理委託量	⑮0t	⑯0t
⑫再生利用業者への処理委託量	158.12t	⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t	⑮のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑯0t	⑰0t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t	⑰熱回収認定業者以外の処理委託量	0t	⑯のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑰0t	⑱0t

(第2面)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：混合廃棄物（管理型含む）)

有 債 物 量

不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量
②0t

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧0t

排 出 量

①27.612t

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③0t

自ら中間処理した後
埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑩のうち再生利用
業者への処理委託量
⑫27.612t

項目 実績値

①排出量 27.612t

自ら中間処理
した量
④0t

自ら中間処理した後
の残さ量
⑥0t

自ら中間処理した後
の処理委託量
⑪のうち再生利用
業者への処理委託量
⑯27.612t

②+⑧自ら再生利用を行った量 0t

④のうち熱回収
を行った量
⑤0t

自ら中間処理によ
り減量した量
⑦0t

自ら中間処理した後
の処理委託量
⑬0t

⑤自ら熱回収を行った量 0t

自ら中間処理によ
り減量した量
⑧0t

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量
⑯27.612t

⑥自ら中間処理により減
量した量 0t

自ら中間処理によ
り減量した量
⑨0t

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量
⑯27.612t

⑦自ら中間処理により減
量した量 0t

自ら中間処理によ
り減量した量
⑩0t

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量
⑯27.612t

⑧自ら中間処理により減
量した量 0t

自ら中間処理によ
り減量した量
⑪0t

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量
⑯27.612t

⑨自ら中間処理により減
量した量 0t

自ら中間処理によ
り減量した量
⑫0t

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量
⑯27.612t

⑩自ら中間処理により減
量した量 0t

自ら中間処理によ
り減量した量
⑬0t

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量
⑯27.612t

⑪自ら中間処理により減
量した量 0t

自ら中間処理によ
り減量した量
⑭0t

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量
⑯27.612t

⑫自ら中間処理により減
量した量 0t

自ら中間処理によ
り減量した量
⑮0t

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量
⑯27.612t

⑬自ら中間処理により減
量した量 0t

自ら中間処理によ
り減量した量
⑯0t

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量
⑯27.612t

⑭自ら中間処理により減
量した量 0t

自ら中間処理によ
り減量した量
⑰0t

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量
⑯27.612t

⑮自ら中間処理により減
量した量 0t

自ら中間処理によ
り減量した量
⑱0t

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量
⑯27.612t

⑯自ら中間処理により減
量した量 0t

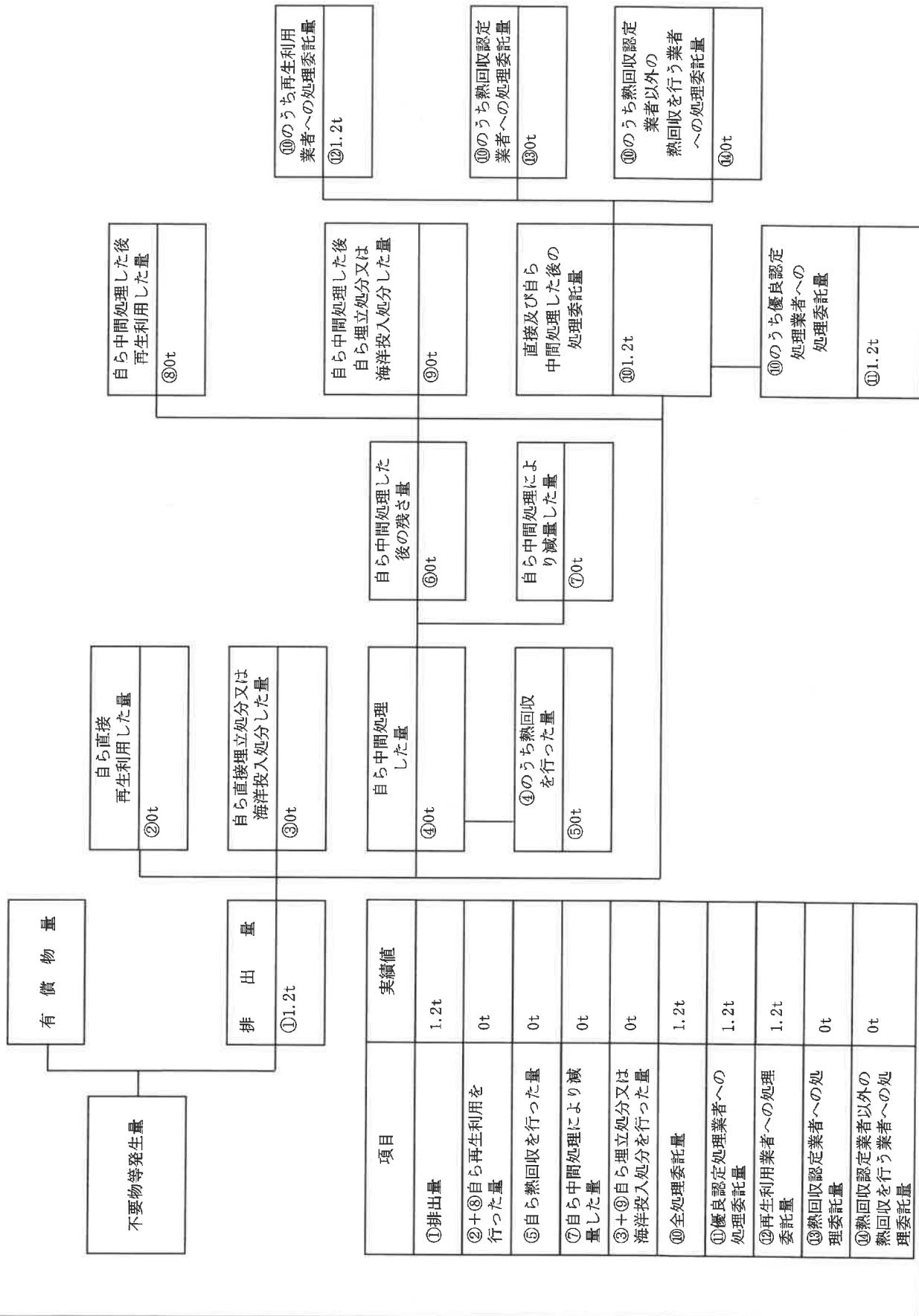
自ら中間処理によ
り減量した量
⑲0t

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量
⑯27.612t

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：紙くず)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑯の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。